



創立：1980年(昭和55年)1月10日
 会長：岩田 修司
 幹事：堀 慎治
 クラブ広報委員長：湯澤 勇生
 例会日：毎週木曜日PM12:30～
 会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3
 ヒルトン名古屋910号
 TEL：052-211-3803
 FAX：052-211-2623
 MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2014～2015年度
 国際ロータリーのテーマ
 LightUp Rotary
 ロータリーに輝きを

2014～2015年度
 国際ロータリー第2760地区
 ガバナーのテーマ
 集まるう・語るう・楽しむう

2014～2014年度
 名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ
 感謝の気持ちを持って、
 ロータリーライフを楽しもう

第1694回例会

～ロータリー雑誌月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2015年4月23日(木) 晴れ 第41回

司会：渡辺喜代彦会場委員
 斉唱：日も風も星も
 ゲスト：(有)絞染色 久野染工場 取締役 久野剛資さん
 中部ケーブルネットワーク(株) 高井恵さん
 鈴木実さん
 Lea Stalderさん

会長挨拶

岩田修司会長

ルパン三世やゴルゴ13などのアニメで、「報酬はスイス銀行に」というお馴染みのセリフがございます。そのスイス銀行についてお話をしたいと思います。

スイス銀行はある銀行の名前ではなく、スイス国内に本店のある複数の銀行の事を指しております。特に、いくつかの名門銀行にはその秘匿性の高さから世界中の「お金を隠したい人々」がこぞって口座を持っている時代がありました。お金を隠したい人々とは、世界の国の独裁者とか、起業家などの富裕層などでございますが、ナンバーアカウントという番号のみで管理されている口座が存在し、その口座の真のオーナーが誰かという事は何人たりとも口外しない銀行でございます。そして、それを法的に支えてきたのがスイス政府であります。この様な仕組みは1世紀以上前から存在し、その恩恵にはナチスドイツの幹部なども預かってきたという長い歴史を持っております。白いお金、黒いお金、あらゆるお金がスイスに集まり、そのお陰でスイス経済が潤ってきたとの事でありまして、スイスのジュネーブに国際機関が沢山あるのも偶然ではないようでございまして、国際会議となれば世界各国から政治を通じた黒いお金を貯め込んだリーダー達が手を振ってスイスに集まる事が出来た訳でございます。そういうメカニズムが長い間働いていた訳でございます。その歴史は、フランス革命の際に王侯貴族がフランスとスイスの国境に近いジュネーブに資産を逃避させたことに始まり、第二次世界大戦時には、ナチスの目を逃れるためにドイツから資金が流れ込むなど、戦乱の絶えない時代から現在までスイスの銀行には資産を守る場所としての絶対的な信頼が寄せられていました。一方で、秘匿性が高く、警察など司法の手が及びにくいという事でスイスの銀行には麻薬やテロ、違法取引などあらゆる不正な資金のマネー



ロータリングに利用されやすいという側面を持ち合わせていたという事でございます。近年は、そういう事に対する国際的な批判が高まり、スイスは2011年についてその名高いあるいは、悪名高い銀行の守秘義務法制を大きく変更したそうでございます。

そのお陰で、1例を挙げますと、エジプトのムバラク一族が預けていた5兆円というお金が、凍結になっており、国有財産横領で有罪とされた場合には、その資産は国民に還元されるという事でございます。もはやスイスはお金を隠したい人にとっての桃源郷ではなくなったようでございます。

ニコボックス

山本英雄ニコボックス委員長

- ・昨日、岐阜美濃GCで震災チャリティーコンペが開催され義援金87万円集まりました。皆様方に感謝です。 **内田 久利さん**
- ・久野さん、本日の卓話ありがとうございます。今月もうじき42回目の結婚記念日を迎えます。 **高木 元明さん**
- ・4月15日で44歳になりました。寂しい話ですが、家族には祝ってもらえず、錦で祝ってもらいました。先日はカラオケ同好会に多数お集まり頂きありがとうございました。久野さん、卓話楽しみにしてます。 **近藤 茂弘さん**
- ・4月28日は家内の誕生日です。同じ月の違う日に誕生日と結婚記念日があるのも困ったものです。 **佐治 寛行さん**
- ・昨日、高松に行った際、先週NHKで紹介された「もり家」で讃岐うどんを頂きました。おいしかったです。40分並びました。 **森 裕之さん**
- ・ちょっと良い事がありました。 **江口 金満さん**
- ・京都、福岡とよい旅になりました。皆様ありがとうございました。 **鈴木 淑久さん**
- ・最近ダブルペリアの優勝が続いています。鈴木実さん例会楽しんでください。 **堀 慎治さん**
- ・先週インフルエンザB型になりました。死ぬかと思いました。内田さん、堀さんにはご迷惑をお掛けしました。 **関谷 俊征さん**
- ・新年度のイベントがやっと一段落しました。先週61歳になりました。 **山本 英雄さん**

出席報告

山本英雄出席委員長

会員62名 出席42名 (出席計算人数43名)

出席率 77.8%

4月12日は補填により 93.6%

幹事報告

堀慎治幹事

・4月23日(木)13:40から新旧CA・新旧理事会をヒルトン名古屋9階

「ことぶきの間」にて行います。

- ・4月23日(木)18:00から次年度役員理事・各委員会委員長懇親会を「蓬莱」にて行います。
- ・次年度の会員名簿について、修正が無い場合も必ず提出してください。
- ・地区研修・協議会に出席される方の名札がメールBOXに入っているので当日持参してください。

委員会・同好会報告

ゴルフ部会 4月度(第358回)

開催日:4月17日(金)

	氏名	グロス	HDCP	ネット
優勝	山口哲司さん	74	0	74
2位	内田久利さん	83	8	75
3位	広瀬弘幸さん	77	2	75

第359回5月度ゴルフ例会は5月8日(金)、緑が丘カンツリークラブにて開催されます。

卓話 (有)絞染色 久野染工場 取締役 久野剛資さん

有松のものづくり&まちづくり

有松村が江戸時代に尾張藩の手によって誕生してから400年が過ぎた今もなお、東海道沿いの建築には藍染めののれんが掲げられています。当時、松が群生し、農業もままならないこの丘陵地で、竹田庄九郎らが街道を通る旅人の土産に絞り染めを施した手ぬぐいを販売した事が現在にまで繋がっているのです。多くの課題や困難を乗り越え、たくましく暮らしてきた人々の蓄積が産業や情緒あふれる街道として表れているのだと、先代や地域の方々から肌身を通じて教え込まれてきました。まず、絞りがどういうものかといいますと、縛る事や、挟む事、縫う事で模様が出来上がります。400年間、基本的にはどんな繊維でも工夫して絞ってきました。この有松の地域は、新しい絞りを100種類以上もつくってきました。絞る布は、基本的に日本で織られた布です。主に、知多木綿や三河木綿、近年は一宮にも素材を提供してもらっています。

本日、歌舞伎の衣装をお持ちしました。有松絞りは小幅の浴衣を絞ることは得意ですが、広幅の布を絞ることは大変な作業になります。この歌舞伎の衣装は、図案家が模様を考え、絞りの布をつくり、最終的にデザイナーに見せて形にしています。



これほど有松絞りが継続して愛されてきた背景には、身近な技術である「絞ること」の佇まいが親しみやすく、好奇心をあおる原理によって柄が生み出されている事が挙げられるでしょう。絞りとは、布を括る事や、挟む事、縫う事で模様をつくります。絞る布は日本国内で織られている知多木綿や三河木綿が主たるもので、近年は一宮にもウール素材など

を提供してもらっています。当時から現在に至るまで、どんな繊維の素材でも工夫して



絞る中で、有松絞りの技法は100種類以上になると言われています。

素材や図案が変化する中で偶然に染め模様が発見される事も多く、この発見第一人者となる喜びが絞る人の糧となり、現在まで様々な柄の開発に繋がっているのです。久野染工場もご多分に漏れず、絞りを応用した形状記憶加工といった伝統に基づく新しいものづくりを提案し続ける事で裏切らないものづくりを目指しています。

また、後継者となる若い人を集め定着させるため、大学生のインターンシップを受け入れ、さらにその大学生を卒業後も育てていくという取り組みも行っています。受け入れた若い方たちは、ものづくりと販売を交互に担当するなかで、どのようなニーズがあり、ものづくりで答えられるかということを感じていくわけです。こうした取り組みを通して次の世代が伝統工芸に関わってみたいと思える場所にしていきたいと思います。

現在の有松では、こうしたものづくりの文化がまちづくりにも活かされようとしています。昭和59年に名古屋市内初の町並み保存地区に指定されてから、街道沿いに建つ数々の建築物が文化財として保存が決まり、平成25年に街道の無電柱化が完了しました。魅力が伝わりやすくなった有松を訪れる人が徐々に増える中で、若い絞りブランドや飲食店などが出店し、相乗的に歴史的な町とこれからを担う若い人々の交流もみられるようになってきました。このように、絞染めの産地として興った有松は、伝統と革新が混在するものづくりの文化を醸成し、その魅力に惹きつけられて訪れる人々との関係をきちんと結び、さらに広げ伝えていく事が大切だろうと私は考えています。



例会のご案内

■今週の卓話 4月30日(木)

テーマ：上空1万メートルのおもてなし
卓話講師：マナー講師 弓矢玲子さん

■次週 5月7日(木) R規定により休会

■次々週卓話 5月14日(木)

テーマ：市民が創る未来への遺産
愛岐トンネル只今再生中

卓話講師：NPO法人 愛岐トンネル群保存再生
委員会事務局長 村上真善さん